長万部の教育コーナー

今、キャンパスでは
東京理科大学

ハートフルコンサート

12月2日(日)、長万部キャンパスにおいて毎年恒例となっている「理科大生と子どもたちのハートフルコンサート」が行われました。

ピアノや管弦楽の演奏、アカペラの公演などが行われ、学生たちは日ごろの練習の成果を存分に発揮できたことと思います。

長万部小学校や中学校、星の子合唱団など多くの町の方々の参加もあり、長万部町のみなさまと理科大生との距離が一層近づいたことでしょう。

ご来場いただきました町民のみなさまに、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

（材料工学科　石塚貴章）

「植木蒼悦記念館へ」
さかえ保育所

年長さんは植木蒼悦記念館を見学に行きました。展示してある、かっぱの絵の目の鋭さにびっくりしたり、愛嬌のある仕草にニンマリしたり、全体に緑がかった色彩を見て美しさに見とれたりして芸術に触れる良い機会になりました。

また、その足で郷土資料館にも行きました。ここでも展示してある、いろいろなものに興味を示し、見たり触れさせていただきました。

この2カ所の施設めぐりで心豊かになるとともに、公共の場での過ごし方を学んだ一日になりました。

「かっぱといっしょに」

写真で見る学校の様子

長万部小学校

どんな音がするのかな／アイヌ文化の学習（11/５）

ちゃんと発表できました／長小まつり・発表（12/５）

しっかりねらって／長小まつり・お店（12/５）

長万部中学校

１年生地域調べ訪問（11/６）

２年生マリア幼稚園訪問（11/13）

１年生地域調べ学級発表会（12/５）

仲間だからこそ言える『お互い様』

静狩小学校長　鈴木俊浩

「静狩小は小さな学校だからいじめはないでしょう。」と尋ねられることがあります。「はい。」と即答します。確かに今のところいじめはありませんが、ちょっとしたけんかはよくあります。けんかをしても帰りまでには仲直りし、笑顔で帰っていきます。

いじめとけんかは全く違います。先日、二年生の子に、いじめとけんかの違いは何かと尋ねたら、「けんかは両方が悪いの。でもね、いじめは片方だけが悪いの。」と、実に明確な答えが返ってきました。

この答え、かなり深いと思いませんか。ご自分の小学生時代を思い出してください。けんかをしてもあっという間に仲直りしたことを。これは仲裁役の先生や周りの子のお陰というのも時にはあったでしょうが、悪いのは『お互い様』と納得していたからです。お互い大切な仲間だという思いがあったからです。

本校は小さな学校なので、どんな遊びをする時も皆一緒です。学年差があるので能力差も大きいです。それでも楽しく遊べるのは、上級生が下級生に手加減しているからではありません。能力差があって当たり前、ミスはお互い様と思っているからです。下級生に有利なルール等の配慮はしますが、遊びに遠慮はありません。全力で動き回り、遠慮せずに意見をぶつけ合ったりするからこそ仲間意識が深まるのだと私は思います。真剣にぶつかりあってこそ見える相手のよさがあります。それが相手を尊重する気持ちへつながると信じています。

静狩小学校は、子どもたちだけでなく職員も、互いに高め合うために『遠慮は無用』これがみんなの合言葉です。